

子宮頸がんゼロプロジェクト

子宮頸がん征圧をめざす
専門家会議

Annual Report 2010

CONTENTS

2010年度 活動一覧	1
2010年度 総括	2
厚生労働省、自治体、議員、メディアへの情報提供	3
啓発ウェブサイト作成と医療専門家向け情報提供	7
若年女性への啓発・情報提供	8
シンポジウムなどによる一般市民への情報提供	9

2010年12月16日

2010年度 活動一覧

2月	第2回自治体アンケート調査	「子宮頸がん検診クーポンの利用状況」「子宮頸がん予防HPVワクチン接種の公費助成検討状況」についての自治体アンケート調査(全国1778自治体)を実施した。 ■実行委員長:今野 良/実行委員:鈴木光明
2月13日	市民公開講座 「検診とワクチンで子宮頸がんを 予防しましょう」	社団法人日本産科婦人科学会、社団法人日本小児科学会、特定非営利活動法人日本婦人科腫瘍学会、当会が京都大学にて市民公開講座を開催。 ■議長:野田起一郎/実行委員長:今野 良/実行委員:神谷 齊、小西郁生/監事:稲葉憲之
2月17日 ~20日	EUROGIN2010&2010 WACC Forum 参加・取材ツアー	世界最大の子宮頸がん学会「EUROGIN」と子宮頸がん啓発を推進する国際会議「WACC」のフォーラムに12名を派遣。4日間にわたり子宮頸がん、HPVに関する情報収集、世界の啓発団体との交流を図った。 ■委員:河村裕美、小林忠男
3月10日	緊急ワークショップ	「世界と日本の子宮頸がん啓発:現状と課題」開催。EUROGIN&WACCForumの報告、ならびに検診クーポンの使用状況・ワクチン接種の公費助成の検討状況について紹介。 ■議長:野田起一郎/実行委員長:今野 良/実行委員:鈴木光明/委員:河村裕美、Sharon Hanley、平井康夫
4月2日	「子宮頸がん」啓発を推進する 4団体による共同記者会見	子宮頸がん啓発を推進する4団体より、「子宮頸がん予防の日」に向けて共同メッセージを発表。 ■議長:野田起一郎/実行委員長:今野 良/委員:河村裕美
4月・5月	幼稚園での「子宮頸がん検診 よびかけ母の日キャンペーン」	全国の私立幼稚園などにて、母の日に園児から大好きなお母さんに子宮頸がん予防のメッセージをつけたカードを渡すキャンペーンを実施。園児の保護者が購読している媒体にも子宮頸がんについての記事掲載。カード配布部数 5万枚 ■委員:上坊敏子
5月~	「子宮頸がんを知る」DVDの配布 (議員・行政向け)	5月より国会議員全員に配布。地方議員にも配布。国・地方自治体レベルでの子宮頸がん予防の体制作り役に役立ててもらおう。 ■実行委員長:今野 良/委員:岩成 治
5月28日	民主党幹事長に、ワクチン公費 助成についての要望書提出	子宮頸がん予防ワクチン接種を推進する12団体が共同で、ワクチン公費助成について民主党幹事長に申し入れを行った。 ■実行委員長:今野 良
5月30日	市民公開講座 「検診とワクチンで予防できるがん -子宮頸がんについてよく知ろう」	第51回日本臨床細胞学会総会・春期大会と共に市民公開講座を開催。仁科亜希子さんが講演 ■実行委員長:今野 良/実行委員:鈴木光明/委員:平井康夫、岩成 治、Sharon Hanley
5月31日	パブリックコメント提出	厚生労働省に「予防接種制度見直し」に関するパブリックコメントを提出した。
7月21日	長妻厚生労働大臣に要望書提出	子宮頸がん予防に公費助成を求める患者団体、関係学会など計23団体に要望書を提出。 ■実行委員:今村定臣、鈴木光明、小西郁生
8月26日	“ワクチン公費助成予算150億円” 厚生労働大臣による報告会&記者会見	7月21日に「子宮頸がん予防に関する要望書」を提出した23団体に対する報告会に、当会委員などが出席。続く記者会見でコメント。 ■実行委員長:今野 良、実行委員:吉川 裕之、委員:河村 裕美
8月~	子宮頸がん征圧連携ACTキャンペーン	若年女性(主に10代後半~30代)を対象に、企業・学校等とのタイアップのもと、検診・ワクチン接種推進活動を推進する。 ■プロジェクトリーダー/実効委員:鈴木光明、プロジェクトメンバー/実行委員長:今野 良、実行委員:今村定臣、吉川裕之、委員:小田瑞恵、宮城悦子
8月~	富国生命パンフレット	富国生命が制作する子宮頸がん啓発パンフレットの監修を協力。 ■委員:笹川寿之、宮城悦子
9月	第3回自治体アンケート調査	21年度の子宮頸がん検診クーポンの最終利用状況、子宮頸がん予防HPVワクチン接種の公費助成検討状況についての自治体アンケート調査(全国1750自治体)を実施。 ■実行委員長:今野 良/実行委員:鈴木光明
9月28日	国会議員向けセミナーの開催	政策決定に必須の子宮頸がんセミナー開催。国会議員24名、秘書48名、市議会議員2名、メディア17名、啓発団体4名、企業その他12名、計95名参加 ■議長:野田起一郎/実行委員長:今野 良/実行委員:吉川裕之/委員:福田 敬
10月	パブリックコメント提出	厚生労働省が概算予算要求を行っているHPVワクチン接種に対する補助事業を、もっと効果的にするためのパブリックコメントを提出した。
10月20日	緊急ワークショップ 自治体アンケート調査報告	子宮頸がん検診無料クーポンの評価とHPVワクチン助成の現状報告を行った ■議長:野田起一郎/実行委員長:今野 良/実行委員:鈴木光明
11月12日	「ワクチン公費助成の接種年齢について」 緊急記者会見	公費助成の対象を「中学1年生から高校1年生まで」とする方針を示す厚生労働省に要望書を提出し、緊急記者会見を行った。 ■実行委員長:今野 良、実行委員:鈴木光明
11月23日	子宮頸がん啓発ウォークを後援	ウォークに後援し、講演と産婦人科女医による相談コーナーに当会委員を派遣した。 ■講演/実行委員:鈴木光明、相談/委員:江夏亜希子、小田瑞恵、宮城悦子
12月16日	スペシャルセミナー 「ワクチンについてよく知ろう」	「ワクチンで予防すべき病気」全体について知っていただくためのセミナーを開催した。 ■実行委員長:今野 良、実行委員:神谷 齊、委員:野々山恵章、岡田賢司
12月22日	子宮頸がん予防のための女性ジャーナ リスト会議(1回目)	女性ジャーナリストを集め、正しい情報を提供、意見を聞き、情報伝達のキーマンとしていく。 ■担当/実行委員長:今野 良、委員:宮城悦子、講師/委員:中山裕樹、小澤信義、岩成 治、柳沢昭浩、Sharon Hanley
12月	医療者向け共用スライドの作成・サイトでの提供	子宮頸がんについての情報を整理し、最新かつ高度な情報を共有するためのスライドを作成。医療者に講演などに使用してもらおう。 ■実行委員長:今野 良、委員:平井康夫
12月	一般女性向けウェブサイト ワクチンページ追加	一般女性に子宮頸がんに関する基礎知識を提供するため「子宮頸がん講座」に、ワクチンについての詳しいページを追加した。 ■委員:小田瑞恵、相良洋子
12月	保健師・助産師・看護師向け 「子宮頸がん予防」冊子の作成	一般との橋渡し役となり、しかも本人が女性である保健師・助産師・看護師向け冊子を、看護協会の協力を得て作成。希望の団体、医療機関、養成機関に無料で送付する。
12月	小中学校保護者向け 「子宮頸がん予防」冊子の作成	日本学校保健会の協力を得て、保護者向けに「検診とワクチン」についての知識を提供し、行動につなげるための冊子を配布する。

2010年度 総括

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議(以下当会)は2008年11月設立以来、以下の2つを目標に掲げ活動を展開してきた。

1. より精度が高く費用対効果にすぐれた子宮頸がん検診(細胞診+HPV検査)を確立し、子宮頸がん検診の受診率50%以上をめざす。
2. HPVワクチンの早期承認と公費負担の実現を図る。

2009年はHPV予防ワクチンの正式承認を獲得し、2010年は検診受診率向上、ワクチン公費負担の実現に向けて、他の啓発団体と連携しながら政府への提言、行政・メディア・医療関係者・一般市民などへの情報提供を活発に実施した。



当会を中心とした幅広い活動の成果として、2010年12月ワクチン公費負担が実現するとともに、今年度接種対象に小学校6年生も例外として認められることとなった。子宮頸がん予防法案も継続審議になっている。

検診クーポンについての自治体アンケート、結果報告のためのワークショップにより、受診率アップのための工夫を広くお伝えし、自治体での活動に役立てられた。

当会の認知が高まり、メディアからの取材や問い合わせが増えた。社会を動かす大きな力になってきている。

厚生労働省、自治体、議員、メディアへの情報提供

検診受診率向上、ワクチン公費負担に向けて、行政、議員、メディアに向けての提言・情報提供を活発に実施。当会を中心とした働きかけにより、ワクチン公費負担が実現するとともに、接種対象に小学校6年生も例外として認められた。

1. 提言活動

“子宮頸がん”啓発を推進する4団体による共同記者会見

“子宮頸がん”啓発を推進する4団体～子宮頸がん征圧をめざす専門家会議、NPO法人子宮頸がんを考える市民の会、社団法人ティール&ホワイトリボンプロジェクト、財団法人日本対がん協会～が、「子宮頸がん予防の日」に向けて共同記者会見を開催。共同メッセージを発表した。

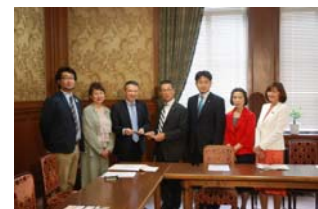


- 日時: 4月2日(金) 15:00～15:30
- 会場: 厚生労働省内9階会見室
- 活動委員…議長: 野田起一郎、実行委員長: 今野 良、委員: 河村裕美
- 出席者…高山須美子(NPO法人子宮頸がんを考える市民の会)

ワクチン公費助成についての要望書を民主党幹事長に提出

子宮頸がん予防ワクチン接種を推進する12団体が共同で、ワクチン公費助成について民主党幹事長に申し入れを行った。

当会は、ワクチンの公費負担や子宮頸がん検診受診率向上に関する4団体共同の要望書を提出。その後、子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成推進実行委員会、子宮頸がん征圧をめざす専門家会議、日本産科婦人科学会の代表がそれぞれの思いを語り、今野 東副幹事長、仁木 博文衆議院議員、山崎 摩耶衆議院議員らと懇談した。



- 日時: 5月28日(金) 14:00～14:15
- 会場: 衆議院本館
- 活動委員…実行委員長: 今野 良 他団体…NPO法人子宮頸がんを考える市民の会、一般社団法人ティール&ホワイトリボンプロジェクト、財団法人日本対がん協会、他

「予防接種制度見直し」に関するパブリックコメントを提出

厚生労働省に「予防接種制度見直し」に関するパブリックコメントを提出した。

- 日時: 5月31日(月)

厚生労働大臣へのワクチン公費助成に関する要望提出と記者会見

子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める23団体が共同で長妻昭厚生労働大臣に面会し、公費助成を求める要望書と約52,000名の署名を提出した。当会は、子宮頸がん予防ワクチンの公費負担の重要性についてコメントし、議員向け「子宮頸がんを知る」DVDなどを手渡した。続く記者会見では、子宮頸がん予防の必要性を伝えた。



- 日時: 7月21日(水) 要望書提出/11:15～11:30、記者会見/11:40～12:00
- 会場: 要望書提出/厚生労働省10F大臣室、記者会見/厚生労働省9階会見場
- 活動委員…実行委員: 今村定臣、鈴木光明、小西郁生
- 他団体…仁科亜季子(子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成推進実行委員会)、他



“ワクチン公費助成予算150億円”厚生労働大臣による報告会 & 記者会見

7月21日に「子宮頸がん予防に関する要望書」を提出した23団体に対して、8月26日報告会が実施され、長妻 昭厚生労働大臣以下、足立 信也厚生労働大臣政務官、山井 和則厚生労働大臣政務官、仁木 博文衆議院議員らが出席した。当会委員など、計10人が報告を受けた。

続く記者会見では、仁木 博文衆議院議員より報告会の概要説明、参加団体代表者からコメントが出された。



- 日時: 8月26日 報告会/13:00~14:10、記者会見/14:15~14:45
- 会場: 報告会/厚生労働省10F大臣室、記者会見/厚生労働省9F会見場
- 活動委員…実行委員長: 今野 良、実行委員: 吉川 裕之、委員: 河村 裕美
- 他団体…仁科亜季子(子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成推進実行委員会)、他

HPVワクチン接種事業に対するパブリックコメントを提出

厚生労働省が概算予算要求を行っているHPVワクチン接種に対する補助事業を、もっと効果的にするためのパブリックコメントを提出した。

- 日時: 10月

「子宮頸がん予防HPVワクチン公費助成の接種年齢について—とくに、小学6年生に対する助成」緊急記者会見

厚生労働省はワクチン接種に対する公費助成の対象を「中学1年生から高校1年生まで」とする方針を示し、小学6年生を対象としている自治体に対しては助成が行われない可能性が示唆されている。そこで、厚生労働省に要望書を提出し、緊急記者会見を行った。



- 日時: 11月12日(金) 15:00~
- 会場: 厚生労働省記者クラブ
- 活動委員…実行委員長: 今野 良、実行委員: 鈴木 光明
- 他団体…鈴木沙織(女子大生リボンムーブメント 他1名)

*この緊急記者会見のあと、実行委員長: 今野 良、委員: 宮城悦子が小宮山副大臣に働きかけて、接種対象者に小学6年生も例外として含まれることとなった。

2. 調査

第2回 自治体アンケート調査

平成21年度補正予算による「子宮頸がん検診クーポン」の利用状況・工夫内容、昨年10月に厚生労働省から承認を得た「子宮頸がん予防HPVワクチン」接種に対する自治体の公費による助成の検討状況などを調査した。調査結果は3月10日の緊急ワークショップで発表し、ホームページに掲載。

- 調査時期: 2月 ■調査対象: 全国1,778自治体 ■回収状況: 有効回収数 747自治体(回収率 42.0%)
- 活動委員…実行委員長: 今野 良、実行委員: 鈴木光明

第3回 自治体アンケート調査

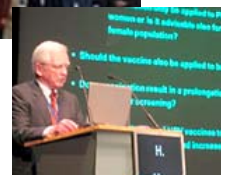
21年度の子宮頸がん検診クーポンの最終利用状況、子宮頸がん予防HPVワクチン接種の公費助成検討状況についての自治体アンケート調査を実施、調査結果は10月20日の緊急ワークショップで発表した。

- 調査時期: 9月 ■調査対象: 全国1,750自治体 ■回収状況: 有効回収数 926自治体(回収率 52.9%)
- 活動委員…実行委員長: 今野 良、実行委員: 鈴木光明

3. セミナー、啓発

EUROGIN 2010 & 2010 WACC Forum 参加・取材ツアー

世界最大の子宮頸がん学会「EUROGIN」と子宮頸がん啓発を推進する国際会議「WACC」のフォーラムに参加し、子宮頸がんに関する最新の知見と啓発の状況、アイデアなどに触れ、今後の啓発活動に活かすために、「EUROGIN 2010 & 2010 WACC Forum 参加・取材ツアー」を企画。子宮頸がん啓発団体、メディア関係者、細胞検査士、行政職員ら12名を派遣。4日間にわたり子宮頸がん、HPVに関する情報収集、世界の啓発団体との交流を図った。



- 日時: 2月17日(水)～20日(土)
- 会場: グリマルディ・フォーラム・モナコ
- 活動委員…委員: 河村 裕美、小林 忠男
- 活動協力…実行委員長: 今野 良(企画・事前説明会・現地コーディネート)
委員: 平井康夫、Sharon Hanley、小西 宏(現地合流)

緊急ワークショップ「世界と日本の子宮頸がん啓発:現状と課題」開催

EUROGIN & WACC Forum の報告、ならびに、検診クーポンの使用状況・ワクチン接種の公費助成の検討状況について紹介する緊急ワークショップを開催。メディア、アンケート協力自治体のがん検診などの担当者、啓発団体、支援企業など、約90名が参加した。



- 日時: 3月10日(水)18時30分～20時45分
- 会場: 東京ステーションコンファレンス
- 活動委員…実行委員長: 今野 良、実行委員: 鈴木 光明
委員: 河村 裕美、小西 宏、Sharon Hanley、平井 康夫

議員、行政担当者向け「子宮頸がんを知る」DVDの配布

子宮頸がんがもたらす健康被害・経済損失、検診とワクチンによる予防方法、精度の高い検診とワクチン接種により得られる日本と女性個人にとってのメリットを9分にまとめたDVDを作成。5月より国会議員全員に配布を開始。地方議員にも配布し、国・地方自治体レベルでの子宮頸がん予防の体制作りに役立ててもらおう。



- 5月～
- 活動委員…実行委員長: 今野 良、委員: 岩成 治

政策決定に必須の子宮頸がんセミナー

厚生労働大臣より発表された子宮頸がん予防HPVワクチン公費助成のための150億円の「概算要求」、自民党・公明党が議論中の「子宮頸がん予防法案」、全自治体の1割以上がワクチン公費負担を打ち出したなど活発な動きのある中、「なぜ、子宮頸がん予防が重要なのか」を理解していただくこと、政策決定・予算策定のための最新かつグローバルな情報を提供するセミナーを開催。国会議員(民主党、自民党、公明党、みんなの党、共産党、社民党ほか)、国会議員秘書、市議会議員、メディア、啓発団体など約100名が参加した。



- 日時: 9月28日(火)15:30～16:45
- 会場: 衆議院第二議員会館 B1 第一会議室
- 活動委員…議長: 野田起一郎、実行委員長: 今野 良、実行委員: 吉川 裕之、委員: 福田 敬

緊急ワークショップ「子宮頸がん検診無料クーポンの評価とHPVワクチン助成の現状」

9月に実施した「子宮頸がん無料クーポンの利用状況」及び「子宮頸がん予防HPVワクチン接種の公費助成状況」についての調査結果を発表するとともに、地域での先進的な活動を紹介する緊急ワークショップを開催。自治体、メディア、国会議員・秘書、地方議員など、約70名が参加した。

- 日時: 10月20日(水) 18:30～20:15
- 会場: 東京ステーションコンファレンス
- 活動委員・・・議長:野田起一郎、実行委員長:今野 良、実行委員:鈴木光明



スペシャルセミナー「ワクチンについてよく知ろう」

HPVワクチンに加えて他の「ワクチンで予防すべき病気」についても知っていたために、議員、保健福祉専門家、教育関係者、報道関係者、一般の方々に向けて、ワクチンの専門家によるワクチンと病気に関するスペシャルセミナー「ワクチンについてよく知ろう」を開催した。

- 日時: 12月16日(木) 15:00～17:30
- 会場: 東京ステーションコンファレンス
- 活動委員・・・実行委員長:今野 良、実行委員:神谷 齊、委員:野々山恵章、岡田賢司



子宮頸がん予防のための女性ジャーナリスト会議(1回目)

10代～30代女性が日々接するメディアの女性ジャーナリストを集め、子宮頸がんの最新の正しい情報を提供するとともに、啓発に関する意見を聞き、参加した女性ジャーナリストを正しい情報伝達のキーマンとしていく。

会議2回(12月、3月)、5月に「EUROGIN 2011&2011 WACC Forum 参加・取材ツアー」に招待する。

- 日時: 1回目 12月22日(水) 18:00～21:00
- 会場: 東京ステーションコンファレンス
- 活動委員・・・担当/実行委員長:今野 良、委員:宮城悦子、講師/委員:中山裕樹、小澤信義、岩成 治、柳澤昭浩、Sharon Hanley



啓発ウェブサイト作成と医療専門家向け情報提供

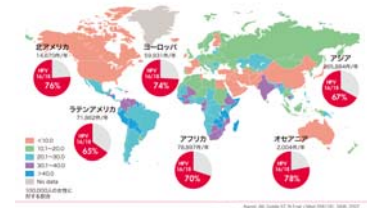
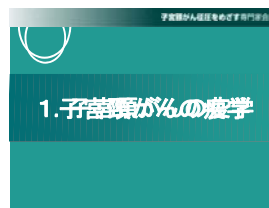
子宮頸がんに関する最新情報の提供をサイトで行っている。データをダウンロードし活用できるようにしている。

医療者向け共用スライドの作成・サイトでの提供

子宮頸がんについての情報を整理し、最新かつ高度な情報を共有するためのスライドを作成。医療者に講演などに使用してもらう。

■12月掲載予定

■監修協力・・・実行委員長：今野 良、委員：平井康夫



ウェブサイトでの情報提供

医療者や行政の保健福祉担当者などに向けて実施した子宮頸がんに関するエキスパートによるセミナーの動画配信など、専門家への最新情報の提供を行う。実行委員・委員が講師を務める子宮頸がん予防に関するセミナーなどの開催情報も提供。

2010WACCへの参加をきっかけとして、世界の子宮頸がん啓発に関する情報なども、今後提供予定。



一般女性向けウェブサイト「子宮頸がん講座」ワクチンページ追加

一般女性に子宮頸がんに関する基礎知識を提供するため「子宮頸がん講座」を携帯とウェブで展開している。

ウェブに、ワクチンについての詳しいページを追加した。

■12月掲載予定

■監修協力・・・委員：小田瑞恵、相良洋子



保健師・助産師・看護師向け「子宮頸がん予防」冊子の作成

一般との橋渡し役となり、しかも本人が女性である保健師・助産師・看護師向け冊子を、看護協会の協力を得て作成。希望の団体、医療機関、養成機関に無料で送付する。

■現在作成中、2011年3月配布予定

若年女性への啓発・情報提供

企業や団体などとタイアップし、若い女性に向けて検診とワクチン接種を啓発している。

幼稚園での「子宮頸がん検診よびかけ母の日キャンペーン」

全国の私立幼稚園などにて、母の日に園児から大好きなお母さんに子宮頸がん予防のメッセージをつけたカードを渡すキャンペーンを実施。同時に、園児の保護者が購読している媒体にも子宮頸がんについての記事を掲載した。

- 4月・5月
- カード／イラスト：藤本四郎、配布部数：5万枚
- PTALしぶん：発行部数30万部
- 子宮頸がん記事取材協力・・・委員：上坊 敏子



富国生命パンフレット

富国生命が制作する子宮頸がん啓発パンフレットの監修を協力。

- 8月末～
- 監修協力・・・委員：笹川寿之、宮城悦子



子宮頸がん征圧連携ACTキャンペーン

企業・学校に勤務・在籍する若年女性(主に10代後半～30代)を対象に、企業・学校等とのタイアップのもと、子宮頸がん予防に対する顕在・潜在的なバリアを取り除き、検診・ワクチン接種推進活動を推進する。新たにキャンペーン推進委員会を立ち上げ、当会委員他がプロジェクトを推進していく。

- 8月～(5年間実施予定)
- 全国
- 活動委員・・・プロジェクトリーダー／実行委員：鈴木光明、プロジェクトメンバー／実行委員長：今野 良、実行委員：今村定臣、吉川裕之、委員：小田瑞恵、宮城悦子、井伊久美子(社団法人 日本看護協会)、木村千里(社団法人 日本助産師会)

小中学校保護者向け「子宮頸がん予防」冊子の作成

日本学校保健会の協力を得て、保護者向けに「検診とワクチン」についての知識を提供し、行動につなげるための冊子を配布する。

- 現在作成中、2011年3月配布予定

シンポジウムなどによる一般市民への情報提供

一般市民の啓発のために、専門情報をわかりやすく解説する公開講座などを他団体と連携して主催・共催。

子宮頸がん啓発のための市民公開講座「検診とワクチンで子宮頸がんを予防しましょう」

子宮頸がん征圧において社会的に重要な使命を担っている4団体～社団法人日本産科婦人科学会、社団法人日本小児科学会、特定非営利活動法人日本婦人科腫瘍学会、子宮頸がん征圧をめざす専門家会議～が、昨年11月の東京に続き、京都でも市民公開講座を開催した。

- 日時: 2月13日(土) 14:00～16:00
- 会場: 京都大学 芝蘭会館 稲盛ホール
- 活動委員・・・挨拶/議長: 野田 起一郎、監事: 稲葉 憲之
講演/実行委員長: 今野 良、実行委員: 神谷 齊、小西 郁生



市民公開講座「検診とワクチンで予防できるがんー子宮頸がんについてよく知ろう」

子宮頸がんについて正しくわかりやすい情報を発信するため、第51回日本臨床細胞学会総会・春期大会と共に市民公開講座を開催。当会委員に加え、子宮頸がんを考える市民の会副理事長・細胞検査士の高山須実子さんや、女優で子宮頸がん体験者の仁科亜季子さんが講演し、司会は子宮頸がん啓発コミュニティ・女子大生リボンムーブメントの臼井あかねさん(当会「EUROGIN 2010&2010 WACC Forum 参加・取材ツアー」派遣メンバー)が務めた。一般市民のほか、医師や看護師、細胞検査士などの医療関係者、地方議員、自治体担当者、養護教諭、メディアなどさまざまな職種の約350名が参加。大学生や高校生も含め、若い年代の参加者が目立った。



- 日時: 5月30日(日) 13:30～15:30
- 会場: はまぎんホール ヴィアマーレ(横浜市西区)
- 活動委員・・・座長/委員: 平井 康夫、講演/実行委員長: 今野 良、実行委員: 鈴木光明
委員: 岩成 治、Sharon Hanley
- 講演/仁科亜季子(女優)、高山須実子(細胞検査士)、司会/臼井あかね(女子大生リボンムーブメント) ■メッセージ/女子大生リボンムーブメント 多数

啓発ウオーク～私は、ワクチン。ママは、検診。～

子宮頸がん啓発のためのウオークに後援し、講演と産婦人科女性医師による相談コーナーに当会委員を派遣した。

- 主催: ウオーキング協会
- 日時: 11月23日
- 会場: 新宿・文化女子大学
- 活動委員・・・講演/鈴木光明、相談/江夏亜希子、小田瑞恵、宮城悦子
- 講演/仁科亜季子(女優)

発行: 子宮頸がん征圧をめざす専門家会議

発行日: 2011年1月

事務局: 〒104-0045 東京都中央区築地1-9-4 ちとせビル3F 株式会社朝日エル内